



# 第四十四回定期総会を開催

山口県防衛協会(会長 田中耕三)では去る六月十九日山口市内のホテルで第四十四回定期総会を開催した。

本総会では、当日所用のため出席できない山口県知事のメッセー

ジを山口県危機管理監(高木邦生氏)が「県民と自衛隊のかけはし」として一層のご尽力を賜りたい。」と代読され、引き続き海上自衛隊第三十一航空群司令(海将補 植月政則氏)から「平素国防意識の普及徹底等を通じ、各種



の事業などへ格別のご高配をいただいている会員皆様に対し深甚なる敬意と謝意を表する。」と祝辞があり、県内各基地司令等多数の来賓の列席のもと県下各地から百六十名の会員が出席した。同総会では、平成十八年度事業同決算報告及び平成十九年度事業同予算(案)並びに役員選出(案)についての各議案が満場一致で承認された。

定期総会に引き続き、全国防衛協会連合会常任理事 山本誠先生による「我が国の安全保障」と題しての講演が行われた。



## 第四十四回定期総会 における会長挨拶

本日は、山口県防衛協会第四十四回定期総会のご案内を申し上げますところ、関係の自治体、並びに海上自衛隊第三十一航空群司令はじめ、県下陸海空自衛隊各基地司令等、その他多くのご来賓のご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましては、県下各地からこのように多数のご出席をいただきましたことに対して深く感謝申し上げます。お陰様をもちまして、平成十八年度の当協会の事業が滞りなく推進できましたことをご報告申し上げます。これも偏に会員各位の熱意と協力の賜であり、心から敬意と感謝を申し上げます。

また、去る五月十六日に開催されました、第三十七回中国・四国地区自衛隊協力団体長会議が山口県内の自衛隊協力団体が相協力して山口市内で盛大に開催され、好評裡に終えることが出来ました。ここに改めて関係各位に対しまして御礼申し上げます。

さて、近年の国際情勢は、依然として不透明・不確実な要素をはらんでいます。特にアジア太平洋地域においては、北朝鮮による拉致問題、核開発、弾道ミサイルの発射、中国の国防費の継続的な増大をはじめ、複雑で多様な要因を背景とした地域紛争、大量破壊兵器の拡散等困難な諸問題が存在しております。

このような情勢の中で、日米安全保障体制は、我が国の防衛のみならず地域の平和と安定、さらには国際的な安全保障環境の改善のために主要な役割を果たしています。また、本年一月に防衛庁は省に移行しました。我が国の民主主義国家としての成熟そしてシベリアン・コントロールへの自信、さらには国際社会の中で平和と安定のために責任ある役割を担っていくという国家・国民の意志を内外に示すこととなると考えます。

今現在も、自衛隊はインド洋、ゴ

ラン高原、イラク、クウェート及びネパールにおいて、国際社会の平和と安定に取り組み我が国の代表として汗を流しています。防衛省移行に伴う国際平和協力活動等の本体任務も踏まえ、このような国民の期待と信頼に応えるべく、我が国の安全確保及び国際社会の平和と安定のため主体的かつ積極的に取り組んでいくことが肝要であると存じます。

当協会は、会員の皆様方とともに県内所在の自衛隊への支援活動や県民への防衛意識の普及活動を従前にも増して強力に推進してまいり所存でありますので、本日ご参集の皆様方には今後ともより一層のご協力をお願い申し上げます。

なお、会員の皆様方には後程、平成十九年度事業計画に関する各議案につきまして十分なご審議を賜りたいと存じますのようしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、県下所在の自衛隊におかれましては国家防衛という崇高な任務達成の為、厳正な規律の下、更なる研鑽・精励によって国民の負託に応えられますよう切に期待いたしますとともに、本日ご参集の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げて、私のご挨拶といたします。

# 第二十七回中国・四国地区 自衛隊協力団体長会議

山口市において開催

五月十六・十七日、防衛思想の普及及び防衛基盤の育成、自衛隊に対する支援・協力の在り方について意見を交換する第三十七回中



国・四国地区自衛隊協力団体長会議が山口市湯田温泉のホテルで開催された。この会議は、山口県防衛協会、山口県隊友会、全国自衛隊父兄会山口県支部連合会の協力三団体が主催し、併せて山口県内自衛隊協力団体等の協力を得て、盛大に行なわれた。

会議は、分科会、合同会議、式典、記念講演、懇親会、研修等で、本会議で各県ごとに議題についての意見を発表、分科会として意見を集約、合同会議で分科会の座長が集約意見を発表し、会員の賛同を得て採択、採択された意見は「陳情書」として政府及び防衛省など関係機関に陳情される。

式典では、山口県副知事、山口市副市長、国会議員等、自衛隊からは中村信悟中部方面総監、半田謙次郎呉地方総監、岩崎茂西部航空方面隊司令官、佐藤修一第十三旅団長、師富敏幸第十四旅団長、中国・四国各地本部長、同自衛隊協力諸団体の長はじめ約百七十名



が参加した。引き続き、記念講演は、初代統合幕僚長 先崎一氏が「転換期の自衛隊」として、新たな自衛隊のあり方について語り、我が国の防衛について認識を深めた。

## 記念式典に おける会長挨拶

主催団体を代表いたしました山口県防衛協会会長の田中でございます。本日は、ご多忙中のところ山口



県副知事西村 巨殿、自衛隊からは陸上自衛隊中部方面総監殿、海上自衛隊呉地方総監殿、航空自衛隊西部航空方面隊司令官殿をはじめ各界の代表者であります多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、ここに第三十七回中国・四国地区自衛隊協力団体長会議を盛大に開催できますことを、心から厚く御礼申し上げます。

団体長会議は、中国・四国地区9県の自衛隊協力団体が一堂に会し、防衛思想の普及及び防衛基盤の育成、自衛隊に対する支援・協力の在り方について意見を交換し、決議された要望等を政府・政党等に陳情することを目的として毎年開催されており、今回が三十七回目になります。

本日先ほどまで「県レベルでの協力団体は今後いかにあるべきか」及び「憲法改正への取り組み」並びに「募集協力のあり方」以上の3議案を議題として各県からの多くの提言・意見等頂戴いたしました。これについての要望等については政府・政党等に陳情する運びとなっております。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、世界各地で頻発しているテロ活動、中国の軍備増強、北朝鮮の核開発問題等また、国内にお

いては、憲法改正への動きや国民保護法の制定など危機管理に関する意識が高くなるとともに、国民の国防に対する意識の高揚が求められております。一方防衛省・自衛隊におきましては、本年一月に防衛省への移行が実現されました。併せて国際平和協力活動などが位置づけられました。これらの新たな脅威や多様な事態により迅速かつ効果的に対応するため、自衛隊は統合幕僚監部を新設し運用を一元化するなど新たな体制に移行するとともに、現在も引き続きテロ対策特別措置法に基づく協力支援活動を継続しております。

このような中で国民の自衛隊に対する期待は益々大きく注目される存在となっており、私たち、自衛隊協力団体といたしましては、それぞれの地域において協力団体とともに手を携えて自衛隊の活動及び環境整備を積極的に推進し、更なる防衛基盤の育成に寄与できま

すよう有意義なものにしたいと考えております。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。終わりに、ご参加いただきました皆様のご健勝を祈念いたしまして主催者の挨拶とさせていただきます。

## 新着任司令の挨拶



航空自衛隊航空教育隊司令  
兼 防府南基地司令

一等空佐 福井 孝

山口県防衛協会の皆様、私は昨年十二月六日付で航空自衛隊航空教育隊司令兼ねて防府南基地司令を拝命いたしました福井です。防衛協会の皆様には、平素から私たちに対するご支援ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。着任して既に八ヶ月を過ぎ、この紙面にて新着任のご挨拶をするのは甚だ恥ずかしい気も致しますが、折角の機会でありますので、近況報告方々山口県の印象など述べてみたいと思います。

私は、瀬戸内海の対岸愛媛県の出身ですので、温暖な山口県は生まれ育った気候と同じで、初めての勤務であります。戸惑いなくこの半年を過ごさせて頂きました。在任間地元の皆様のお言葉や、自衛隊に対するご支援を支えとして任務に邁進すると共に休日を利用した歴史上の各種史跡や文化にも触れ、山口県を十分に堪能させて頂いております。

さて、航空教育隊は航空自衛隊の准曹士が最初に教育を受け

る所であり、ここでの教育が自衛隊としての基礎を築くこととなります。また、三曹昇任後もいわゆる下士官としての教育も実施しており、今年の七月をもって、部隊創設以来延べ二十五万人の隊員教育を達成し、今後とも良き伝統を継承しつつ、時代のニーズに対応するため教育改革にも積極的に取り組んでいるところであります。

部隊や隊員による事故を局限し、防衛協会の会員の皆様や地元の皆様のご期待に添えるよう更に部隊の精強化に努め、優秀な学生を一人でも多く排出するよう精進して参りたいと思っておりますので、引き続き温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新着任のご挨拶とさせていただきます。

(略歴)  
昭和二十八年六月十三日生  
第六航空団副司令(小松)  
航空教育集団司令部装備部長(浜松)  
幹部学校業務部長(目黒)  
防大(二十期)愛媛県出身



海上自衛隊下関基地隊司令  
一等海佐 柴田孝宏

この度、本紙面をお借りして山口県防衛協会の皆様にご挨拶を述べる機会を賜り厚く御礼申し上げます。また、日頃より自衛隊の活動に対し、御理解、御支援を賜っていることに対しましても御礼申し上げます。

さて、私が下関基地隊司令を拝命してから早、十か月が過ぎようとしておりますが、関門地区はもとより山口県地勢の大方を知るに至り、私どもの部隊に課せられた任務の重責に今更ながら身の引き締まる思いがいたします。とりわけ、関門海峡は日本のスエズ運河に譬える人もおり、経済活動の面のみならず軍事的にも極めて重要なエリアであり、その防衛の任を負っていることの重さを実感する毎日です。先日も、六連島西方海域で旧軍のものとされる砲弾の爆破処理を実施いたしました。この海域には今もって機雷を含む多くの砲弾が海底に眠っていることを思うと安閑とはしておれません。また、関門海峡はスエズ運河の譬えのとおり、外国船も多く行き交う様を見られるにつけ、9・11米国同時多発テロの教訓を引き合いに出すまでもなく、関係機関の能力を効果的かつ有機的に連携されることにより、テロに対する警備・警戒の網を張り巡らす必要を痛感します。しかもこのテロとの戦いは、国際的な連携なくしてその実をあげることが難しく、一見平穏な海であっても常に厳しい視線

を維持する忍耐力が要求されるゆえんであろうと思えます。折しもテロ特措法に基づくインド洋での海上自衛隊による給油支援活動の継続の行方は、ねじれ国会のため世間の大きな関心を集めておりますが、例えばそれが後方支援活動であっても、軍事力による直接的な関与は国家意思の反映であるのみならずが国際常識であります。仮にインド洋から海上自衛隊が撤退することになれば、国際関係における損失は看過できないものとなるでしょう。不透明、不確実な時代と言われる国際情勢であるがゆえに、今こそ戦略的かつ適正な軍事力の使用が求められるのであろうと思えます。

響灘、関門海峡を行き交う多くの船舶を眺めながらインド洋に活躍する仲間を想い、また、こうした地道な活動により日本の安全保障にいささかなりとも貢献できるのも、貴協会をはじめとする多くの国民のご理解とご支援の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご指導、御鞭撻をお願いいたします。

(略歴)

- 昭和二十七年七月十七日生
- 第五十一掃海隊司令(横須賀)
- 第一術科学校教務部長(江田島)
- 掃海業務支援隊司令(横須賀)
- 防大(二十期)山形県出身

新着任司令の紹介



第17普通科連隊長  
兼 山口駐屯地司令  
1等陸佐 池田和典

(略歴)  
昭和四十一年一月七日生  
第十三普通科連隊中隊長(松本)  
幹部学校(目黒)  
第九次ゴラン高原派遣輸送隊長  
第十二旅団司令部第三部(相馬原)  
陸上幕僚監部人事課(市ヶ谷)  
陸上幕僚監部運用支援・情報部(市ヶ谷)  
研究本部(朝霞)  
防大(三十二期)岡山県出身

女性部会部隊研修

七月二十六日、山口県防衛協会女性部会(会長 山口富美子以下五十八名)は自衛隊山口地方協力本部の協力を得て海上自衛隊岩国航空基地隊の研修を行った。当日は猛暑の中、会員一行は大

型バス二台に分乗し、一路岩国航空基地隊へと向かった。予定通り到着、米軍の厳しいチエックを受け早速、植月政則群司令の暖かいお迎えとともにご挨拶をいただき、引き続き基地担当者による基地の全般の現況について説明を受け場所を移動して航空機及び資料



館を見学した。特に基地の広さ、米軍と日本の施設等との対比に驚かされ、また基地の抱える諸問題を目の前にして多くことを勉強することができた。また、昼食は米軍のクラブ岩国でいただきましたが、重厚な雰囲気の中で米軍食の甘さに魅せられ時のたつのも忘れて歓談が続いた。岩国基地問題を抱えている中、基地の役割・任務の重要性を認識し研修を無事終了した。

平成19年度各種広報行事予定表

Table with 4 columns: 月日(曜), 行事名, 場所, 行事予定. It lists various events from October to November, including anniversary events and air festival activities.

実施日及び行事内容は、天候あるいはその他の都合により変更になる場合があります。尚、行事の紹介は一部です。詳しくは、最寄りの地方協力本部又は各地域事務所等にお問い合わせ下さい。

事務局だより

山口県防衛協会への入会について
当協会は、一層の会勢拡大を図るため法人、団体及び女性・青年層の皆様にご入会を賜り、二十一世紀の会組織・会活動の一層の活性化を進めてまいりたいと存じております。

何卒、当協会の主旨にご賛意を賜り奮って本会に入会されます方々のご推薦又はご紹介をよろしくお願いいたします。

年会費は
法人会員 一五、〇〇〇円以上
団体会員 三、〇〇〇円以上
個人会員 二、〇〇〇円以上
入会ご希望の方々はご紹介下さる方は、左記までご連絡下さい。

平成十九年度会費をまだお振込されていない会員の方は、会費の納入についてよろしく願います。

※ 山口県防衛協会事務局の電話番号が変更されました。当協会に関するお問い合わせについては、左記までご連絡ください。☎
(083)922-1760

二等陸・海・空士
随時受付
(男子・女子)
自衛隊生徒
受付期間
十一月一日
〜二〇年一月八日

自衛官募集案内

※詳しいお問い合わせは
自衛隊山口地方協力本部
(083)922-23325



山口県防衛協会40周年記念事業
ホームページを開設しました。
各種情報については下記アドレス
にアクセスしてください。
http://www.y-defense.jp/